

保存版

自ら学ぶ子に
— 家庭学習の手引き(小学生版) —



保護者のみなさまへ

小学校での学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切な「学ぶ力」を育てることをねらいとしています。

自ら学ぶ子とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を活かし、見通しをもって考える力をもった子であると考えています。

学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。さらに、学校と家庭が連携することで、学習内容が確実に定着し、学力がより一層伸びていくものと考えます。この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、家庭学習がさらに充実するように、ご活用いただければ幸いです。

綾瀬市教育委員会

学習の習慣化

継続は力なり。

毎日、わずかずつでも続けることが大きな力になります。

続けることで、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。

学ぼうとする意欲

学校での「できた」

「楽しかった」という思いが、家庭学習でより確実なものとなり、次の学びへの意欲につながります。

学習内容の定着・習熟

「計算・漢字・音読」

練習などは、繰り返し行うことが大切です。その日のうちに復習する、習いたての繰り返しがより効果的です。

家庭学習の意義

家庭学習には、ここに示しましたように、様々な教育的意義があります。家庭学習を充実させ、お子さんの学ぶ力を育てましょう。

また、小学生段階くらいまでは、お子さんがどんな学習をしているかに関心を持ち、できるだけ学習の様子を見てあげることが大切です。



脳の活性化

読み・書き・計算等の学習を毎日続けることにより、脳が活発にはたらくようになります。小学生のこの時期に脳をしっかり鍛えることは、とても大切です。

家族のふれあい

家庭学習をしている子どもに親が関わることで、コミュニケーションが図られます。

見守られているという心の安定が、心身や頭脳の健全な成長につながります。

子どものがんばりを認め励ますことで自信がつき、進んで学習しようという意欲がさらに高まります。

生活にリズムを

(パッチリ、モグモグ、コツコツ、グッスリ)

規則正しい生活のリズムが、子どもたちの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

(朝、昼、夜の食事の時間を決めると生活のリズムが整います。)

読書に親しむ

家庭での読書や読み聞かせをしましょう。

図書館や書店でのたくさんのお本との出会いも楽しいものです。

学習時間を決めて

最初は短く、だんだん長く。目安は10～15分×学年です。短時間で集中して学習することを心がけましょう。

一緒に家事を

協力して家事を行うことで、家族のつながりの大切さを学びます。家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。

家庭を学びの環境に

家庭学習の習慣化を図るためには、基本的な生活習慣の確立と環境づくりが大切です。子どもたちが楽しみながら、自ら進んで学ぶことができる家庭環境をつくりましょう。



進んで学ぶ 好奇心を

日常生活の中に、お子さんが自然に学べる環境をつくり、社会の出来事にも目を向けられるような、はたらきかけをしましょう。

身近に置くとよいもの

日本地図、世界地図、地球儀、国語辞典、漢字辞典、図鑑、事典

- * **ニュース番組**を見たり**新聞**を読んだりした後、親子で話し合う。
- * **自然や生き物**とふれあい、観察したり調べたりする。
- * **将棋や囲碁・パズル等**、頭を使うゲームに挑戦してみる。
- * **百人一首等の詩歌**を暗唱してみる。
- * **P T A 行事**や**地域行事**に参加する。



小学校の学習内容の特色

低学年 ⇒ 基本的な学習習慣を！

1・2年生

家庭学習のめやす
15～30分

- ・「読み、書き、計算」等の基礎的・基本的な学習を行います。
- ・繰り返して練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- ・生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- ・「話をしっかり聞く」「正しく鉛筆を持つ」「身の回りの整理整頓をする」「明日の学習の準備をする」なども基本となる大切な学習です。

中学年 ⇒ 自主的な学習習慣を！

3・4年生

家庭学習のめやす
30～60分

- ・新しい漢字をたくさん学習し、国語辞典や漢字辞典を使います。
(3・4年生ともに200字ずつ)
- ・「社会科」「理科」「総合的な学習の時間」の学習が始まります。
地図帳や資料集・事典などを使って、「調べ学習」に取り組みます。
- ・四則計算(+-×÷)の基礎・基本を徹底して学びます。
分数や小数など、学習する数の範囲が広がります。
- ・ローマ字、毛筆、リコーダーの学習が始まります。

高学年 ⇒ 計画的な学習習慣を！

5・6年生

家庭学習のめやす
50～90分

- ・筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ・自分で課題を見つけ、解決していく学習が多くなり、「学び方」や「まとめ方」を学びます。
- ・「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ・「外国語活動」を通して、国際感覚の基礎を身につけていきます。

低
学
年

たくさんの本と出会う <読書も練習が必要です>

《本好きを作るヒント》

- ・家族で一緒に読んだり、読み聞かせをしたりして、一緒に楽しむ。
（「家庭読書の日（ノーテレビ・ノーゲーム）」の活用）
- ・身近な場所に本を置く。・図書館に行く。・登場人物やあらすじを聞いてあげる。



【音読】・点や丸に気をつけて、大きな声で間違えずに読む。

【ひらがな・カタカナ・漢字の練習】

- ・書き順に気をつけて、ひらがな・カタカナ・漢字をノートに練習する。
- ・習ったかなや漢字を使った言葉集めや文作りをする。

【視写】・教科書等を見ながら、ノートに同じように写す。

【日記】・日付を書いた後、その日にあった出来事や気づいたこと、思ったことを書く。

中
学
年

好きな本をたくさん読む

《本好きを作るヒント》

- ・教科書に出てきた作家が書いた作品や同じテーマの作品を読む。
- ・読んだ本の感想や読書記録を書くと、好きな作家や話の傾向が分かる。



【音読】・教科書の文章を声に出して、正確に読む。（国語以外の教科書も）
・様子を思い浮かべて、工夫して読む。

【漢字の練習】

- ・学習した漢字を練習して、正確に書いたり読んだりする。
- ・学習した漢字を使って、熟語集めや文作りをする。
（漢字辞典などを活用する。）

【言葉】・国語辞典などで、言葉の意味を調べる。・ローマ字を覚える。

【日記】・伝えたい内容を、わかりやすく書く。習った漢字を使う。
・書く順序やつなぐ言葉を工夫して書く。

高
学
年

読書の幅を広げる

《本好きを作るヒント》

- ・興味のある新聞記事や古典など、いろいろなジャンルのものを読む。
- ・好きな言葉や表現の仕方を書きとめておく。

【音読・朗読】

- ・大切な言葉を意識して読む。
- ・国語以外の教科書も正確に読めるよう音読する。
分からない言葉は調べる。

【言葉】・辞典を積極的に活用し、使える語を増やす。

【日記】・日々の生活の中から、自分でテーマを見つけて書く。



*低学年・中学年での家庭学習の例は、高学年でも取り組めます。

算数・その他の家庭学習例

低
学
年

算数

【計算の練習】

- ・たし算やひき算が正しくできるように練習する。
- ・2年生は、かけ算九九をすらすら言えるように練習する。
- ・まちがえた答えは消さないで、もう一度やり直す。

【時間】

- ・時計の針を見て、何時何分か読めるようにする。

【生活の中で】

- ・ものを数える活動を経験させる。



その他

- ・生き物や植物の観察をする。
- ・鍵盤ハーモニカの練習をする。
- ・生活科で学んだことを家庭でもやってみる。

中
学
年

算数

【学習問題の練習】

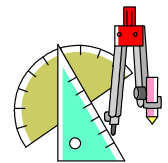
- ・その日に学校で学習した問題を、もう一度解いてみる。
- ・教科書やドリルの問題を、繰り返して練習する。
- ・まちがえた答えは消さないで、「どうしてまちがえたのか」を考えて、やり直す。

【図形】

- ・三角定規や分度器、コンパスなどが正確に使えるように練習する。

【生活の中で】

- ・買い物の計算やおやつを分ける活動などを経験させる。



その他

- ・社会科・理科・総合的な学習の時間で学んだことで、さらに興味を持ったことについて調べる。
- ・リコーダーの練習をする。

高
学
年

算数

【学習問題の練習】

- ・教科書やドリルを使って、計算が正しくできるように繰り返して練習する。
- ・まちがえた答えは消さないで、「どうしてまちがえたのか」を考えて、やり直す。
- ・「どうしてその答えを導き出したか」を式や言葉で説明できるようにする。

【図形】

- ・三角定規や分度器、コンパスなどを使って、図形を描く練習をする。

【生活の中で】

- ・買い物の計算や割合の計算、量の単位を言う、こづかい帳をつける活動などを経験させる。

その他

- ・社会科・理科・総合的な学習の時間で学んだことで、さらに興味を持ったことについて調べたり、まとめたりする。
- ・リコーダーの練習をする。
- ・家庭科で学習したことを家庭でもやってみる。

